

イエスさまの称号

1. 聖書において、イエスさまの称号は、どのようなものがありますか。

聖書には、イエスさまの働きと関連して色々の称号があつて、その称号にはイエスさまがどんな方であるのかを示しています。ここには、救い主 (savior, Iテモテ 2:3)、贖い主 (redeemer, イザヤ 49:7)、仲介者 (mediator, Iテモテ 2:5)、保証人 (surety, ヘブル 7:22)、キリスト (Christ, IIテモテ 1:1) などがあります。

2. 「救い主」という称号は、イエスのある働きを意味することです。

「救い主」という称号は、悪によって困難を受け、悲惨な状態に置かれている者たちを自由にしてあげる方を意味します。それゆえイエスさまを、救い主と呼ばれるのは、アダムが自分を、悲惨な状態に投げ入れた以降、苦しみと困難の中にいる神の民を、イエスさまが救い出して、彼らにある悪を取り除き、彼らを幸いな状態に移して置くという意味です。エジプトの労役によって自由が奪われて、抑圧の中で奴隷の状態にいたイスラエルを、彼らの悲惨な抑圧か

ら自由にさせたように、キリストはご自身の民を、罪と悪魔の奴隷となっている状態から、救い出す働きをなさるのです。

3. イエスさまは救い主として、ご自身の民を、どこから救い出しますか。

イエスさまは、救い主となられて、ご自分の民の罪のくびきを外し、罪の奴隷となった状態から救い出します（ロマ7:14, 17, 8:2）。罪人は、審判に引き渡されるしかないのですが、救い主が、罪に対する負債を支払ってくださったことで罪責から救い（ガラテヤ3:13）、罪の汚れから救い出します（Iコリント6:11）。また、その中には、罪によって曲げられた神の形を、キリストが、義を転嫁させて回復させて下さり、キリストの美しさによって選ばれた民が神の御前に立つことができるようにしてくださいます（黙1:5）。特に、聖霊によって新しく生まれさせ、その靈魂を聖くし、罪の支配から救い出します（テトス2:14）。救い主となるイエスさまは、ご自身の民を律法の呪いから救い出し、さらに進んで、死と地獄の罠からご自身のしもべたちを抜け出るようになさいます（Iコリント15:25-26、54、ヨハネ11:26）。

4. 「贖い主」という、イエスさまの称号は、何を意味しますか。

「贖い主」という称号は、イエスさまが、選んだ民を救われる方法を示すこととして、値を支払い敵の手から私たちを買われた（buying）ことを意味します。死に直面する状態にいた選ばれた者たちを、自由の状態に回復させるために値を支払ったのです。これはとても、公正な救いの方法です。罪人たちは、自分の過ちによって悲惨な状態に置かれていました。律法を破って、神に敵対したため神の怒りと罪の定めの下に置かれるようになったのです。また自ら、自分を敵の手に委ねてしまい、自分の力と能力では抜け出られなくなりました。

それで、イエスさまがご自身の民のために、自分の命を持って十分な贖いの代価を支払い、神の怒りと敵の手から彼らを救い出したのです。

5. 贖い主としてイエスさまが、贖いの代価を支払った方法は、何ですか。

贖い主となるキリストが、贖いの代価を支払った方法は、ご自分の一番、高貴な血を与えることでした。それによってキリストは、神の公義を満足させ、神さまの、罪に対する呪いと怒りとの審判から、その民を解放してくださいました。罪とは、神に不従順し、敵対したことなので、当然、神の公義によって審判を受けるしかありません。神は、聖なる方として罪を極めて嫌悪なさる方で、罪には必ず審判があります。さらに人間は、罪の奴隷となり、悪魔の権威の下にいるため罪の定めの下におるのです。従って贖い主となるイエスさまが死なれることで、罪の定めと罪の権威を取り除き、神の公義を満足させなければなりません。贖い主となるキリストは、贖いの代価を父なる神に捧げられ（1テモテ 2:6）敵たち、つまり、罪と悪魔の手からご自分の民を救い出したのです。キリストの死の効力は、罪の力を除去したことです。

6. イエスさまを「仲介者」と呼ばれる、理由は何ですか。

「仲介者」という単語は、二人の当事者の間に不和があった時、その間に介入して和解を周旋し条約を結ぶ方を指します。イエスさまは、仲介者として神と人との間に平和を保つ働きのために労苦なさいます。つまり、神と人との間を和解させる働きをなさいます。

本来、行い契約には、仲介者が必要ありませんでした。アダムは無罪状態のまま、神に直接出て行くことができました。そして神の命令なされたことを、神に与えられた力によって十分移行することができました。それで仲介者の助

けが必要なかったのです。しかし、アダムが墮落した以降、神と結ばれた恵み契約には仲介者・仲保者が必要となります。人間が神に罪を犯したことで、神とは敵の間となり、重い審判の下に置かれてしまったからです。恵み契約には仲介者・仲保者が約束されていて、仲介者・仲保者が、神と人間との間の敵対感を無くし、平和を保たせます。この仲介者・仲保者を通して、神は、罪人である人間を受け入れられるようになりました。

7. 神さまが仲介者を立てられた、理由は何ですか。

アダムが墮落した以降の人間は、すべての良いものを神から直接受けられなくなりました。人間には、聖もなく正しさもありません。従って、神さまが直接人間を相手にすることができません。それで神は、墮落した人間を相手にするために仲介者を立てたのです。神は、キリストを通して、恵みのすべてを豊かに用意し、選んだ民たちに、キリストを通してその恵みが付与されます（Iヨハネ5:11、エペソ1:22）。神は、ご自身の善を、その選んだ民たちに与えるために、イエスさまを通路とされました。ご自身が選んだ民と和解し、交際するために、イエスさまを仲介者と立てたのです。神は、真実な仲介者となるキリストを通して、ご自分の民に慈悲と恵みを施します。

8. イエスさまを「保証者」と呼ばれる、理由は何ですか。

イエスさまを新しい契約の保証者と呼びます（ヘブル7:22）。保証者とは、ある者が債務をちゃんと移行するのか、どうかによって、その責任を負う役割をする者です。幼児たちが、バプテスマを受ける時、彼らの悔い改めと信仰に至るまでの責任を負い、お世話する者を保証者と呼びます。ところが、イエスさまを保証者と呼ぶ時、この保証は、負債に対する責任を負うことを意味します。ある人

が、債務移行に不移行すれば、金を貸そうとする人は保証人を要求します。それで、その人が債務を移行できなければ、保証人がその人の代わりに債務を移行しなければならなくなります。

イエスさまは、神の選んだ民のために、父なる神に保証者の役割をなさいました。その民が返せない借金の代わりに債務を移行する保証者となられたのです。イエスさまはご自分の選んだ民の保証者となり、贖いを成し遂げ、それによって神は彼らを赦し、受け入れてくださるのです。保証者となるイエスさまは、私たちが悔い改めによって神に立ち返るように、神は、保証者を通して私たちを受け入れてくださいます。神は、私たちが信頼するのではなく、保証者を信頼して受け入れてくださるのです。なぜなら、神は、私たちが神の公義を満足させられないことを良くご存知です。それでイエスさまを、新しい契約の保証者と呼ぶのです。

9. イエスさまを「キリスト」と呼ばれる、理由は何ですか。

「キリスト」という名は、油を注がれた者 (anointed) を強調する称号です (ヨハネ 1:41, 4:25)。聖書では、王、祭司を立てる時、彼らに油を注ぎました。そして、時々預言者たちにも油を注ぎます。このように油を注ぐ理由は、神の御前に、聖なる者として区別されたことを示すためにです。油注ぎを通して、神が、ご自身の目的と用度に応じて、彼らを用いるということを示し、また、神さまが、その職務を助けてくださることを確信させます。イエスさまは聖霊によって油注ぎを受けました。従って、キリストという称号は、イエスさまの特別な働きを現わすこととして、預言者、祭司長、王の職務を遂行されることを現わします。キリストという称号は、イエスさまが、知恵の預言者として働き、聖なる祭司と、王の権威を持ち、御業を行われるということです。